

次の世代のための一歩を踏み出そう " One step for next generation! "

~ステージ3~

19 年度からスタートした 053 大作戦では、ごみ減量とリサイクル推進、そして、まちの環境美化に対して、ま ちぐるみで取り組んできました。

ゼロごみへの取組は着実に広まりつつあり、自然と環境にやさしい『ゼロごみのまち とまこまい』の実現ま で、あと一歩のところまできています。

次の世代を担う子供たちへ、美しい苫小牧の環境と経済発展という両輪を残すためには、今、その一歩を 踏み出す、新たなチャレンジが必要となります。

ステージ 3 では、「次の世代のための一歩」として、5 つのテーマにまちぐるみでチャレンジします。

テーマ1 平成25年7月から家庭ごみ有料化が始まります。

平成25年7月1日から始まる家庭ごみ有料化の市民周知を徹底するための...3ユニット12事業

テーマ2 ごみを減量し、環境負荷を低減します。

一人ひとりが日常できるごみ減量方策を支援・周知するための...

2ユニット 8事業

テーマ3 分別品目を拡大し、リサイクルを推進します。

平成25年7月1日から始まる新分別ルールの市民周知を徹底するための... 2 ユニット11事業

テーマ4 不法投棄・不適正排出は許しません。

美しい自然を保全のため、そして、まちの環境美化を推進するための...

2 ユニット 11 事業

テーマ5 ゼロごみの普及・実践を目指します。

幼い子供から高齢者まで、まちぐるみでゼロごみに取り組むための...

4 ユニット 17 事業

0 5 3 大 作 戦 ~ ス テ 一 ジ 3 ~ 事 業 概 要

	ユニット	事 業 概 要
家庭ごみ有料化	きめ細かな市民説明	町内会での説明会、各種団体や教育機関との説明会、コミセン等での常設市民説明会
	指定ごみ袋制の導入	サンプル袋を作成しイベントや説明会での配布、サンプル袋のモニタリングの実施
	きめ細かな広報活動	有料化リーフレットの全戸配布、ポスター・のぼり等での啓発、 広報・新聞等の活用による啓発、各町内会の会報等への掲載、バス車内・収集車やごみパトロール車によるアナウンス、市公用車 による周知活動
≻ n	4R 運動の推進	イベント等での啓発、4R 運動の講習会の開催2 事業
こみ減量	生ごみ等の減量啓発	生ごみ減量講習会の開催、生ごみ堆肥化容器購入助成拡大、電動生ごみ処理機購入助成金額拡大、電動生ごみ処理機無料貸出制度 導入とモニタリングの実施、計画的食材購入講習会の実施、ごみ減量活動団体助成金
分別品目拡大 不 法 投 棄	紙資源の循環利用	分別啓発 DVD を作成し公共施設等での放映、新分別体験モニタリングの実施、主要古紙回収拠点の拡充、家庭用雑紙のモデル回収、集団回収奨励金の拡充、リサイクルボックスの拡充、リサイクルハウスの助成件数の拡充
	拠点回収品目の拡大等	小型家電・剪定枝の拠点回収の実施、ペットボトルキャップによる 社会貢献、古着・古布、廃食油の拠点回収4事業
		ステーションパトロール隊の創設、共同住宅ごみ排出マナー改善対策協議会の創設、ゼロごみ 110 番の開設、折りたたみ式ステーションの設置、転入者・外国人向けパンフレットの配布、ゼロごみの日の実施、クリーンとまこまい改訂版の全戸配布、ゼロごみコールの実施
乗防・止	民間企業との協働	夜間・休日パトロールの実施、不法投棄多発地域マップによるパトロール強化、民間及び市関係部局との連携強化3事業
ゼロごみ(環境教育)	ゼロごみの発信	プレイベント(ゼロごみトーキング)の実施、リサイクルプラザでのイベント(オープニング等)、リサイクルプラザの出前講座等の実施(リニューアル事業)、自然と環境にやさしいまちづくりのためのシンポジウムの開催4事業
	世代別環境教育の実践	親子参加のリサイクル見学会の開催、幼児向けリーフレットの作成・配布、053ファイブによる啓発、小中学校副読本の作成・配布、各種リサイクルアイデアコンテストの実施、ケアマネジャー連絡協議会等の高齢者向け啓発
	事業所・企業市民への 啓発	ごみ減量等優良事業所認定制度の創設、企業市民への環境啓発、 事業所向けパンフレットによる啓発
推進	行政の率先行動	公共施設分別排出セミナーの開催、職員のごみ分別サポーター制度の導入、CAPと連携したまちなか清掃ボランティア、庁内もったいない運動の推進
	全体	13 ユニット 59 事業